



日本語観光ガイド  
スキルアッププログラムワークショップ  
ガイドとして知っておくべき防災時の対策



ASEAN-JAPAN CENTRE

クロマーツアーズ代表/カンボジア観光省アドバイザー  
西村清志郎

[info@seishiron.com](mailto:info@seishiron.com)



更新:2025年3月29日

Training Course on Refresher Training for Japanese-Speaking Tourist Guides  
From 25-28 March, 2025, Siem Reap Province



2025年3月16日 シエムリアップ



# 目次

---

- I 防災って何？
- II 主な災害の種類は？
- III 自然災害とは？
- IV 人為災害とは？
- V 災害別の対応 1 地震
- VI 災害別の対応 2 台風
- VII ガイドとしての対応
- VIII 旅行会社の緊急時の対応

# I 防災って何？

防災とは？

災害を防ぐこと。



## II 主な災害の種類は？

---

1. **自然災害**…異常気象などの自然発生する現象により、人や社会に被害を与える災害
2. **人為災害**…人の手によって引き起こされ、人や社会に被害を与える災害

身近な災害を上げてください。



# 自然災害とは？

---

異常気象などの自然発生する現象により、  
人や社会に被害を与える災害

地震、津波、台風、がけ崩れ、地すべり、落雷、高潮、大雪、竜巻、干ばつ、冷夏、火山噴火など

- ▶ 国、地域の地形や、気候によって異なる。



# いろいろな種類の災害とカンボジアで起こりやすい災害



地震



豪雨



暴風



火災



浸水



停電



衝突



落雷



津波

### III 人為災害とは？

---

人の手によって引き起こされ、人や社会に被害を与える災害

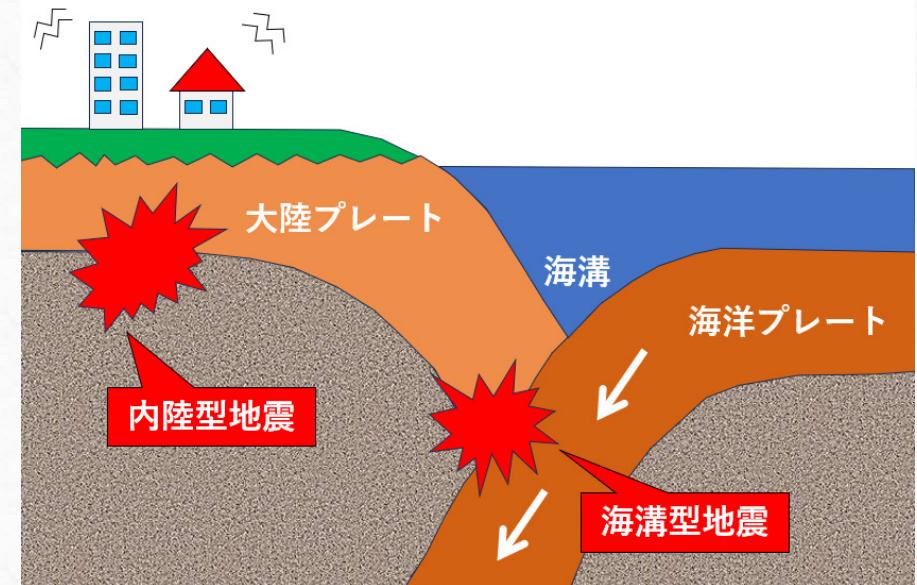
- 都市の生活地域における公害(大気汚染、水質汚濁、土壤汚染、悪臭など)
- 工事現場や工場、鉱山などで起こる事故
- 仕事中に従業員が事故に遭い、負傷や死亡する
- 計画を実行するにあたって調査や設計がずさんなことで発生する事故
- 建物の老朽化や、建て方の不備による建物の倒壊
- 車の交通事故、電車の脱線、船や飛行機の事故
- 火の不始末や放火による火災

# IV 災害別の対応、準備 1 地震

---

地震とは、地下にある岩盤にずれが生じることで、地上に発生する揺れのこと。

揺れの強さを表すのが震度で、これが10階級に分けられています。



# 災害別の対応、準備 1 地震

---

1. 家具類の転倒・落下・移動防止対策
2. けがの防止対策
3. 家屋や塀の強度を確認
4. 消火の備え
5. 火災発生の早期発見と防止対策
6. 非常用品を備える
7. 家族で話し合う
8. 地域の危険性を把握
9. 防災知識を身につける
10. 防災行動力を高める



# 災害別の対応 1 地震

- ・落ち着いて、自分の身を守る … 机の下などへもぐる。倒れてくる家具や落下物に注意を。
- ・火の始末はすばやく … コンロの火を消し、ガスの元栓を閉める。無理はしない。
- ・ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する

【1~2分】(津波、山・がけ崩れの危険が予想される地域はすぐ避難)

- ・火元を確認、出火していたら初期消火
- ・家族の安全を確認
- ・靴をはく … ガラスの破片などから足を守る。
- ・非常持出品を手近に用意する

【3~10分】

- ・隣近所の安全を確認 … 近所の人を確認、火が出ていたら大声で知らせ、協力して消火をする。
- ・余震に注意 … 大きな地震の後には余震が発生する。
- ・情報を確認
- ・家族の確認とお迎えなど

【その後】

- ・生活必需品は備蓄でまかなう … 災害発生から3日間は、外からの応援は期待できない。
- ・災害情報、被害情報の収集
- ・壊れた家には入らないこと
- ・引き続き余震に警戒する

## 屋内での注意点

NHK



# 災害別の対応 1 地震

揺れによって物が倒れてくる、壁や窓ガラスが割れるなど怪我の危険性が高いです。

地震と連動して起きる被害として建物の倒壊、津波、火災、土砂崩れ、液化現象などが挙げられます。そのほかにも、電気・ガス・水道が止まるライフラインの寸断や、電話がつながりにくい、道路が通れなくなるなど、生活に困難を来すこともあります。

地震に対しては、備蓄品や防災リュックの準備、避難訓練の実施など、普段から地震への防災意識を高めることが重要です。

## 屋内での注意点

NHK



人の多い施設では  
慌てて出口に走りださない



エレベーターは最寄りの階で  
停止させ 速やかに降りる



周辺火災で延焼おそれ  
早めの避難を

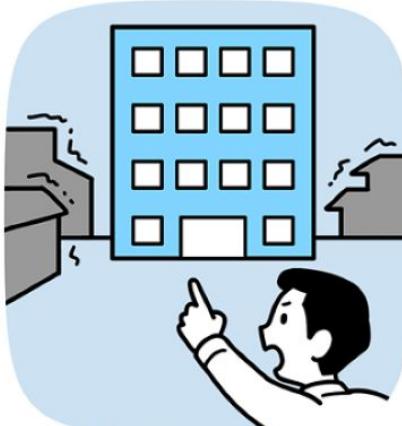
# 災害別の対応 1 地震

## 屋外での注意点

NHK



ブロック塀や  
自動販売機の転倒に注意



丈夫そうなビルのそばなら  
その中に避難する



揺れがおさまった後も  
頭上からの落下物に注意

# 災害別の対応 1 地震

## 屋外での注意点

NHK



山や斜面では落石・崖崩れに注意  
できるだけその場から離れる



ハザードランプを点灯  
緩やかにスピードダウン  
車から離れる時 キーは車内に



埋め立て地や河川近くは  
液状化のおそれ  
避難の際は十分に安全確認を

# V 災害別の対応 台風

7月から10月にかけて台風が多く、9月は熱帯低気圧が発生しやすいため、とくに多くなる。

台風が上陸すると、**大雨、洪水、暴風、高潮**といった被害を生み出します。

風速が**15m/s以上**になると風に向かって歩くのが難しく、高所での作業には危険が伴います。また、風速が**20m/s**をこえると立っていることすら難しく、**物が飛ん**てきて怪我をする確率も高まります。

実際に強風により高いところから落ちる、物にぶつかる被害などが多いため、不要な外出を控えることが重要です。

#NHK防災これだけは

1

## 風速にも注目して 天気予報を見る

雨量だけでなく風の強さも確認して

### 最大瞬間風速

30メートル  
(時速108キロ)



細い幹の木が折れる



屋根瓦が飛ぶ



ビニールハウスが破れる



道路標識が傾く

40メートル  
(時速144キロ)



木が折れる



看板が落ちる



工事現場の足場崩落

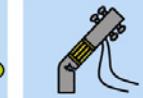


トラック横転

50メートル  
(時速180キロ)



多くの樹木が倒れる



電柱や街灯が倒れる



ブロック塀が倒れる



建物の外装材が飛散

60メートル  
(時速216キロ)



倒壊する住宅がある



外に出るのは危険です  
予定を変更して外出を控えてください

台風の暴風対策これだけは

NHK

## V 災害別の対応 事故

2025年3月16日、シェムリアップエリアでは強風のため、多くの木が倒れました。

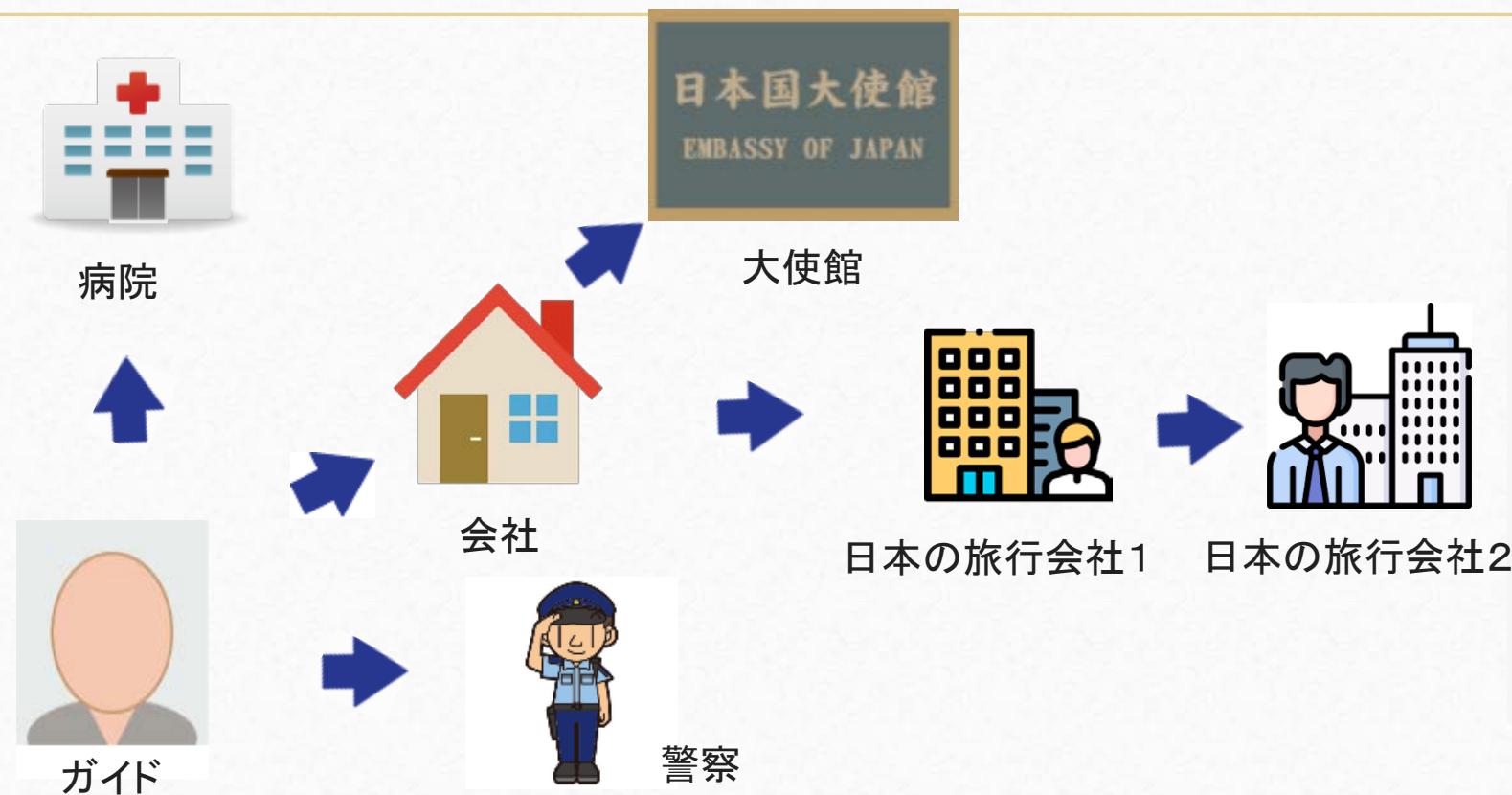
そのため、一部交通事故が発生しています。

お客様が乗っていた車が事故をした場合、至急会社に連絡し、その後の対応を決める必要があります。

例えば、ミラーが割れた、ガラスが割れたなどの場合、日本ではそのまま運転することは許されませんのでご注意ください。



# VI ガイドとしての緊急時の対応



## [REPORT LIST]

- WHEN
- WHERE
- WHO&WHOM
- WHAT
- WHY
- HOW

# VII 旅行会社の緊急時の対応



海外旅行中に地震が発生した場合、旅行会社は、現地の気象情報や危険情報の確認、ツアーの旅程の見直しなど、安全確保を優先した対応を行います。

## 【旅行会社の対応策】

1. 事前に準備されている緊急時対策マニュアルに沿って対応
2. 現地の気象情報や危険情報の確認
3. ツアーオペレータやガイド、添乗員、訪問先との連携
4. 場合によっては旅程の見直し
5. 営業時間内はもちろん、夜間、休日にも速やかに対応できる緊急連絡体制の構築

**補足** 海外旅行保険では、地震や津波などの自然災害が原因でケガを負った場合や、身の回りの持ち物が壊れたり盗まれたりした場合の携行品損害などが補償される場合があります。

災害がおきたら、どうするか  
自由に発表してください。



お疲れさまでした。

---

担当： 西村清志郎

[info@seishiron.com](mailto:info@seishiron.com)

TEL・テレグラム： +855 (0) 17777110